

第 10 回委員会	
資料 20	H19. 7. 23

今後の策定委員会開催日程(案)

回 数	日 程	内 容
	平成 1 9 年 6 月 1 2 日 ～ 2 2 日の間	○狭域候補地区（二次選定）の選定について、各委員 に意見照会 ・回答頂いた意見を取りまとめた資料を作成
第 1 0 回	平成 1 9 年 7 月 2 3 日	○狭域候補地区（二次選定）を選定 ○中間報告（案）の検討 ○移転建設用地の選定（三次選定）について ・調査検討項目（案）の抽出
第 1 1 回	平成 1 9 年 9 月 2 6 日	○中間報告の確定 ○移転建設用地の選定（三次選定）について ・比較検討方針の決定 ・重み付けの有無の確定
第 1 2 回	平成 1 9 年 1 1 月下旬	○移転建設用地の選定（三次選定）について ・収集運搬効率、コストの算定 ・各候補地区の比較検討表の作成
第 1 3 回	平成 2 0 年 1 月下旬	○移転建設用地の選定（三次選定）について ・候補地区の比較検討（移転建設用地の選定） ・最終報告（案）の検討
第 1 4 回	平成 2 0 年 3 月下旬	○移転建設用地の選定（三次選定）について ・最終報告の確定

*開催日程並びに検討内容については、あくまで予定スケジュールであり、変更されることがあります。

移転建設用地の選定（三次選定）における調査検討項目表（案）

狭域候補地区の選定（二次選定）において抽出された区域について、以下の調査検討項目により各地区を比較検討し、最終的な移転建設用地の選定を進める。

調査検討項目（案）

1. 移転候補地区を選定する際の基本条件より

基本条件	調査検討項目	比較評価の考え方
① 300m以内に学校・幼稚園・保育園及び病院がなく、 <u>住宅地群に近接していないこと。</u>	住宅地群に近接していないこと	・住宅地群並びに近接についての検討条件を定め、この条件に基づいての現況の土地利用状況を調査し評価する。
⑤ごみの収集・運搬効率がよく、焼却後の残渣の処理に便利な場所を選ぶこと。	収集運搬コストシミュレーション	・各候補地区において、収集運搬コストシミュレーション調査を行い、比較検討により評価する。
⑦主な搬出入のための道路が整備できているか、整備できることが確実な場所であること。	国道、県道、道路幅員等	・狭域候補地の選定（二次選定）で調査済みであるが、詳細図にて再確認により評価する。
⑧電気、ガス、水道等の供給設備の整備が困難でないこと。	特別高圧受電 都市ガス、上下水道等	・狭域候補地の選定（二次選定）で調査済みであるが、詳細図にて再確認により評価する。 ・特別高圧受電に係るコストについては、概算額を算定し、比較検討により評価する。

2. 移転建設用地の整備等に係るコスト

○建設用地の買収に係るコスト	・大阪国税局の路線価等を参考にし、建設用地の買収に係る費用の概算額を試算し、比較検討により評価する。
○建設用地の敷地造成に係るコスト	・敷地造成費の概算額を試算し、比較検討により評価する。 *費用の積算については、平坦地、緩やかな傾斜地、急傾斜地の3パターンによる敷地形状を想定し、概算額を試算する。 *搬入道路の新設が必要な場合の費用も含む

上記の調査検討項目（案）により、狭域候補地の選定（二次選定）エリアについて、候補地の定量的な比較評価を行うとともに、用地の取得容易性等の定性的な評価を踏まえて、移転建設用地の選定に向けて、更なる移転候補地区域の絞り込みを行う。